



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東大

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー

(氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	177,320	5.4	13,625	18.7	13,731	17.2	7,190	24.7
24年3月期第2四半期	168,225	△7.0	11,479	△44.9	11,718	△40.8	5,765	△25.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,041百万円 (44.3%) 24年3月期第2四半期 2,800百万円 (△30.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.44	—
24年3月期第2四半期	16.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	405,111	237,541	54.0	621.91
24年3月期	398,196	234,711	54.7	618.94

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 218,745百万円 24年3月期 217,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	357,000	4.4	26,000	27.3	26,500	25.6	14,000	18.4	39.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	364,942,682 株	24年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	13,209,781 株	24年3月期	13,202,440 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	351,737,370 株	24年3月期2Q	355,218,950 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などもありましたが、欧州をはじめとした海外景気の悪化や円高の継続などにより、回復の動きに力強さがみられない中で推移いたしました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、1,773億20百万円（前年同期比5.4%増）となりました。利益面では、営業利益は136億25百万円（前年同期比18.7%増）、経常利益は137億31百万円（前年同期比17.2%増）、四半期純利益は71億90百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途が薄型テレビの販売不振の影響を受け、売上高は微減となりました。

たばこフィルター用トウは、主に海外向け販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、362億79百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は、原燃料高に伴う販売価格の是正や減価償却費の減少などにより、67億32百万円（前年同期比99.0%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けの海外需要が堅調に推移したことや、当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を当連結会計年度は実施しない年であったことなどで販売数量が増加しましたが、円高の影響などにより、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品については、酢酸エチルの販売が堅調に推移しましたが、欧州や中国での需要減少や円高の影響もあり、売上高は減少いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、電子材料向け需要の停滞や海外需要不振の影響で、売上高は減少いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国向けのカラム販売は好調を維持したものの、受託分離の受注減や円高などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、357億24百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は、販売数量の減少や円高の影響もあり、24億26百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチックス株式会社及びその子会社群が事業を行っております。当第2四半期連結累計期間にあたる平成24年1～6月においては、海外需要の停滞や円高の影響を受けましたが、自動車生産回復による販売数量の増加や原燃料高に対応した販売価格の是正が進み、売上高は増加いたしました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車部品向けなどが堅調に推移しましたが、電機・電子材料向けの需要が低迷したことにより、売上高は減少いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、本年4月より高発泡プラスチック製品事業において吸収合併により事業規模が拡大しましたが、電子材料分野での需要回復の遅れの影響などもあり、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、703億97百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は、原燃料価格の高騰などにより、62億47百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、前年同期に震災で落ち込んでいた自動車生産台数が回復したこと、及び本年4月に買収したイニシエータ（インフレーター用着火部品）の製造販売会社である米国Special Devices, Inc.を新規連結したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、319億42百万円（前年同期比35.5%増）、営業利益は、販売数量の増加に伴う設備稼働率の向上などにより、22億15百万円（前年同期比30.0%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療分野向けが好調に推移しましたが、下水道分野での需要が落ち込み、売上高は横這いとなりました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、29億76百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は、3億78百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少及び投資有価証券の時価評価額の減少などがありましたが、有価証券、たな卸資産、無形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比し69億15百万円増加し4,051億11百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより前連結会計年度末に比し40億85百万円増加し、1,675億70百万円となりました。

また純資産は、2,375億41百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,187億45百万円となり自己資本比率は54.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は229億円9百万円（前年同期は、189億7百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前当期純利益123億50百万円及び減価償却費118億23百万円であり、資金減少の主な内容は、たな卸資産の増加51億3百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は184億72百万円（前年同期は、19億47百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出110億82百万円及び子会社株式の取得による支出72億97百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は59億18百万円（前年同期は、116億95百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、短期借入金の純増加額35億1百万円及び長期借入による収入15億18百万円であり、資金減少の主な内容は、長期借入金の返済による支出81億92百万円、配当金の支払額17億58百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は321億58百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、欧州や中国をはじめとする世界経済の不確実性や円高の継続により、予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは、中期計画「3D-I」の基本戦略である新規事業の創出、コア事業のさらなる強化、コスト競争力の強化、グローバルでの事業展開の拡大・強化などを着実に遂行しております。

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、当第2四半期連結累計期間の業績と、先行き不透明な経済情勢などを踏まえ、売上高3,570億円、営業利益260億円、経常利益265億円、当期純利益140億円を予想しております。

<平成25年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	365,000	27,000	28,000	16,000	45円49銭
今回発表予想(B)	357,000	26,000	26,500	14,000	39円80銭
増減額(B-A)	△8,000	△1,000	△1,500	△2,000	
増減率(%)	△2.2	△3.7	△5.4	△12.5	
(ご参考)前期実績	341,942	20,426	21,094	11,827	33円46銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

Chiral Technologies, Inc.

Chiral Technologies Europe S.A.S.

Daicel (Asia) Pte. Ltd.

Daicel (Europa) GmbH

Daicel Polymer (Hong Kong) Ltd.

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用する方法に変更しております。

Daicel Trading (Shanghai) Ltd.

Daicel Chiral Technologies (China) Co., Ltd.

Shanghai Daicel Polymers, Ltd.

Daicel Nanning Food Ingredients Co., Ltd.

Daicel (China) Investment Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,649	26,694
受取手形及び売掛金	76,675	76,372
有価証券	3,925	7,078
たな卸資産	71,134	76,769
その他	13,844	13,783
貸倒引当金	△60	△113
流動資産合計	197,170	200,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,739	43,460
機械装置及び運搬具(純額)	54,964	51,380
土地	26,503	26,571
建設仮勘定	11,845	16,521
その他(純額)	2,151	2,362
有形固定資産合計	139,204	140,296
無形固定資産		
のれん	—	3,285
その他	2,393	6,895
無形固定資産合計	2,393	10,181
投資その他の資産		
投資有価証券	44,209	36,949
その他	15,374	17,271
貸倒引当金	△154	△170
投資その他の資産合計	59,428	54,049
固定資産合計	201,026	204,527
資産合計	398,196	405,111
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,212	47,251
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	12,020	16,637
1年内返済予定の長期借入金	13,482	12,219
未払法人税等	1,515	3,012
修繕引当金	161	1,727
その他	18,435	18,912
流動負債合計	101,828	109,761
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	27,730	22,326
退職給付引当金	10,498	11,009
役員退職慰労引当金	58	66
修繕引当金	1,129	329
資産除去債務	1,030	1,024
その他	1,209	3,052
固定負債合計	61,656	57,809
負債合計	163,485	167,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	152,858	158,504
自己株式	△6,011	△6,015
株主資本合計	214,701	220,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,507	7,286
繰延ヘッジ損益	△115	△94
為替換算調整勘定	△8,387	△8,789
その他の包括利益累計額合計	3,004	△1,597
少数株主持分	17,005	18,795
純資産合計	234,711	237,541
負債純資産合計	398,196	405,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	168,225	177,320
売上原価	131,806	136,717
売上総利益	36,418	40,603
販売費及び一般管理費	24,939	26,978
営業利益	11,479	13,625
営業外収益		
受取利息	143	171
受取配当金	636	494
持分法による投資利益	739	663
その他	712	726
営業外収益合計	2,232	2,055
営業外費用		
支払利息	769	634
為替差損	749	828
その他	473	486
営業外費用合計	1,992	1,949
経常利益	11,718	13,731
特別利益		
固定資産処分益	5	6
関係会社株式売却益	239	—
補助金収入	1,000	—
特別利益合計	1,245	6
特別損失		
固定資産除却損	441	313
減損損失	374	—
投資有価証券評価損	4	507
固定資産圧縮損	911	—
厚生年金基金脱退損失	—	566
災害による損失	434	—
特別損失合計	2,167	1,386
税金等調整前四半期純利益	10,797	12,350
法人税、住民税及び事業税	2,666	4,316
法人税等調整額	699	△646
法人税等合計	3,366	3,670
少数株主損益調整前四半期純利益	7,431	8,680
少数株主利益	1,666	1,490
四半期純利益	5,765	7,190

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,431	8,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,730	△4,205
繰延ヘッジ損益	13	17
為替換算調整勘定	△986	△524
持分法適用会社に対する持分相当額	72	72
その他の包括利益合計	△4,630	△4,639
四半期包括利益	2,800	4,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095	2,183
少数株主に係る四半期包括利益	1,705	1,858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,797	12,350
減価償却費	14,596	11,823
減損損失	374	—
のれん償却額	—	177
受取利息及び受取配当金	△780	△666
支払利息	769	634
持分法による投資損益 (△は益)	△739	△663
固定資産除売却損益 (△は益)	435	306
固定資産圧縮損	911	—
補助金収入	△1,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,030	825
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,808	△5,103
仕入債務の増減額 (△は減少)	686	1,127
その他	△1,390	2,677
小計	22,884	23,489
利息及び配当金の受取額	1,219	1,098
利息の支払額	△773	△623
法人税等の支払額	△4,423	△1,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,907	22,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	3,629	1,000
有形固定資産の取得による支出	△5,757	△11,082
有形固定資産の売却による収入	12	5
無形固定資産の取得による支出	△191	△329
投資有価証券の取得による支出	△1,640	△10
子会社株式の取得による支出	—	△7,297
貸付けによる支出	△131	△6
貸付金の回収による収入	471	29
補助金収入	1,000	—
その他	659	△781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,947	△18,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	320	3,501
長期借入れによる収入	—	1,518
長期借入金の返済による支出	△6,576	△8,192
自己株式の取得による支出	△1,815	△3
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△2,134	△1,758
少数株主への配当金の支払額	△1,490	△983
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,695	△5,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△470
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,162	△1,952
現金及び現金同等物の期首残高	33,724	33,435
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	156	7

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
連結子会社の決算期変更に伴う期首現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△183	349
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	318
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,859	32,158

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,844	40,087	66,677	23,580	165,190	3,035	168,225	—	168,225
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,327	7,907	3	—	9,239	4,874	14,113	△14,113	—
計	36,172	47,994	66,681	23,580	174,429	7,909	182,339	△14,113	168,225
セグメント利益	3,383	3,518	6,627	1,704	15,234	477	15,711	△4,231	11,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,231百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,279	35,724	70,397	31,942	174,343	2,976	177,320	—	177,320
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,311	7,603	5	—	8,920	4,767	13,687	△13,687	—
計	37,590	43,327	70,403	31,942	183,264	7,743	191,007	△13,687	177,320
セグメント利益	6,732	2,426	6,247	2,215	17,622	378	18,001	△4,375	13,625

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,375百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。